

フェアトレードタウン連続講座

# 気候変動とフェアトレード

～サステイナブルな社会のために私たちができること～

7/17(土) 14:00～16:00



## 第 1 回

限界へ向かう地球環境と私たちの未来  
～エシカルから考える気候変動、生物多様性、SDGs～

古沢 広祐 さん  
(國學院大學研究開発推進機構客員教授)



【費用】無料

【定員】先着50名 \*市内在住者優先

【視聴方法】オンライン (Zoom)

【申込方法】7月1日(木)8:30以降 ①住所②氏名③電話番号  
④メールアドレスを、市ホームページ申込フォーム、  
電話・FAXで、または市民協働課窓口へ

お申込みはこちら



問 市民協働課 (市役所3階)

TEL 046-872-8156 (直通) FAX 046-873-4520 \*平日8:30～17:00

主 催 : 逗子市・逗子フェアトレードタウンの会

# フェアトレードタウン逗子で一緒に考える 持続可能な社会のために私たちができること



## フェアトレードと環境課題

フェアトレードとは、途上国の人々による生産物を適正な価格で取引を行い、生産者の収入向上を目的とした新しい仕組みです。

逗子市は、行政・企業・市民団体などが一体となって、まちぐるみでフェアトレードの輪を広めようと取り組む「フェアトレードタウン」に2016年7月に認定されました。

フェアトレードが必要とされる背景には、「貧困や教育」、「つくる責任つかう責任」などの課題が存在します。

SDGsに代表される「持続可能な社会の実現のために必要なアクション」が求められる背景にも、多くの環境課題があります。

個人の生活スタイルとその価値観において、他者とのつながりや、地域や国を超えたつながりを見つめ直すことが、この2つに共通して求められています。

今回の講座ではフェアトレードの理念である「私たちの暮らしの選択や世界とのつながり」をキーワードに、環境や気候変動の課題について考える講座を7月より来年3月まで全5回開催します。

## 第 1 回

### 講演概要

地球環境、気候変動、コロナ禍、マイクロプラスチック、貧困、格差、SDGs…。

私たちが生活する世界・地球は大きな転換点にあるようです。こうした世界と地球の課題について、最先端の問題意識と地球の来るべき未来へ向けて、『持続可能な社会のために私たちができること』、私たちが気づき、取り組むべきことについてお話しします。



### 講師プロフィール

古沢 広祐 (ふるさわ こうゆう) さん

國學院大學研究開発推進機構客員教授。

大阪大学理学部 (生物学科) 卒業、京都大学大学院農学研究科 (農林経済) 農学博士。

國學院大學経済学部 (経済ネットワーク学科) 教授を定年退職後、現職。

NPO「環境・持続社会」研究センター代表理事ほか複数のNGO・NPOの役員を務める。

最近著に、『食・農・環境とSDGs～持続可能な社会のトータルビジョン』農文協、『みんな幸せってどんな世界』ほんの木、『エシカルに暮らすための12条』週刊金曜日・連載コラム (kindle電子版)、共著に、長坂寿久編著『フェアトレードビジネスモデルの新たな展開』明石書店など多数。

最新刊に、小中学生向け環境問題シリーズ4冊「食品ロス」「マイクロプラスチック」「生物多様性」「エシカル消費」(金の星社)を監修。



お申込み → FAX 046-873-4520・窓口

■ 受講を希望される人は、次の参加要件にチェック☑をしてください。

【1】主催者が記録及び広報用に録画することについて (講演中は画面表示オフ可)

同意する

【2】グループワーク時の画面表示をオンにする(ご自身の顔を表示する)ことについて

同意する

氏名 (フリガナ)	お住まい
TEL	Eメール
-	@